

NPO法人 とともに生きる街ふくおかの会 主催
シンポジウム

市民としての外国人をどう受け入れ、 支えていくのか ～とともに生きる街をつくるために～

日 時：2019年1月12日（土）13:00～16:00

場 所：福岡市NPO・ボランティアセンターあすみん

福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4階

定 員：70名

参加費：500円（資料代）

※NPO法人とともに生きる街ふくおかの会2018年度年会費納入済みの方は無料

外国人労働者受け入れ拡大が議論される今、かれらを市民として受け入れ、ともに生きる社会をつくるにはどうすればいいのでしょうか？

外国人受け入れに関わる政策動向を広くフォローし、日本語教育の立場から積極的に発信されている田尻英三さん（龍谷大学名誉教授）をお迎えし、地域の現実的な課題や対応を考えます。

＜プログラム＞

第一部 基調講演「日本社会における日本語教育の位置づけを考える」

田尻英三さん（龍谷大学名誉教授）

第二部 パネルトーク

外国につながる子どもの教育～進路保障の支援と課題～

伊藤亜希子さん（福岡大学、NPO法人とともに生きる街ふくおかの会理事）

外国につながる子どもの高校以後の可能性～在留資格に関わって～

古城良さん（福岡県行政書士会、NPO法人とともに生きる街ふくおかの会理事）

外国につながる住民と出会う・支える～公民館行事を異文化間交流へ～

宮寄祐子さん（香椎浜公民館主事）

○申し込み先：「こくちーず」の下記リンク先より申し込みください。

「市民としての外国人をどう受け入れ、支えていくのか」

<https://kokucheese.com/event/index/540377/>

○問い合わせ先：NPO法人 とともに生きる街ふくおかの会

E-mail：tomoikifukuoka@gmail.com

主催：NPO法人 とともに生きる街ふくおかの会